

線形代数学・同演習 B

1 月 17 日分 演習問題^{*1}

1. 次の \mathbb{R}^2 の基底 (v_1, v_2) を Gram-Schmidt の直交化法により直交化せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 3 & 1 \\ 2 & -2 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 1 & -3 \\ -1 & -1 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 3 & -1 \\ 1 & 1 \end{pmatrix} \quad (4) \begin{pmatrix} 4 & 2 \\ 2 & -3 \end{pmatrix}$$

2.[†] 次の \mathbb{R}^3 の基底 (v_1, v_2, v_3) を Gram-Schmidt の直交化法により直交化せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & -6 & 3 \\ 0 & 2 & -3 \\ 0 & 0 & -2 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 0 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} -1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 1 & 1 & 1 \end{pmatrix} \quad (4) \begin{pmatrix} 2 & 0 & -1 \\ 0 & 2 & -1 \\ 1 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

3.[†] 次の $\mathbb{R}[x]_2$ の基底を Gram-Schmidt の直交化法により直交化せよ. ただし内積は $(f|g) = \int_{-1}^1 f(x)g(x) dx$ とする.

$$(1) p_1(x) = 1, p_2(x) = x, p_3(x) = x^2.$$

$$(2) q_1(x) = x^2, q_2(x) = x, q_3(x) = 1.$$

$$(3) r_1(x) = -x, r_2(x) = -x^2 + x, r_3(x) = -x^2 + x - 1.$$

4. \mathbb{R}^2 の正規直交基底は次の形のもので尽くされることを示せ.

$$(1) u_1 = \begin{pmatrix} \cos \theta \\ \sin \theta \end{pmatrix}, u_2 = \begin{pmatrix} -\sin \theta \\ \cos \theta \end{pmatrix} \quad (2) v_1 = \begin{pmatrix} \cos \theta \\ \sin \theta \end{pmatrix}, v_2 = \begin{pmatrix} \sin \theta \\ -\cos \theta \end{pmatrix}$$

5. 2 次の直交行列をすべて求めよ.

6.[†] 任意の 3 次正則行列 A は, ある直交行列 P と上三角行列 U を用いて $A = PU$ という積でかけることを示せ^{*2}.

7.* 整数 $n = 0, 1, 2, 3, \dots$ に対して $H_n(x) := (-1)^n e^{x^2} \left(\frac{d^n}{dx^n} e^{-x^2} \right)$ とおく^{*3}. また, 二つの多項式 f, g に対して $(f|g)_H := \int_{-\infty}^{\infty} f(x)g(x)e^{-x^2} dx$ とする^{*4}.

(1) $n = 0, 1, 2, 3, 4$ に対して $H_n(x)$ を求めよ.

(2) 各 $H_n(x)$ は n 次の多項式となることを示せ.

(3) $(\cdot|\cdot)_H$ は $\mathbb{R}[x]_n$ (n は任意の自然数) の内積を定めることを示せ.

(4) この内積 $(\cdot|\cdot)_H$ に関して, 多項式 $H_n(x)$ ($n = 0, 1, 2, \dots$) は直交していることを示せ.

8.* n 次直交行列全体のなす集合を $O(n)$ とするとき, $O(n)$ は群になることを示せ. すなわち, 以下の 3 つが成り立つことを確かめよ.

$$(1) E_n \in O(n),$$

$$(2) P, Q \in O(n) \Rightarrow PQ \in O(n),$$

$$(3) P \in O(n) \Rightarrow P^{-1} \in O(n).$$

^{*1} 凡例: 無印は基本問題, [†] は特に解いてほしい問題, * は応用問題.

^{*2} ヒント: Gram-Schmidt の直交化法. これは任意の n 次正則行列で成り立つ.

^{*3} この多項式を Hermite 多項式という.

^{*4} 重み e^{-x^2} を持つ積分である.